

LC70WCS
遠隔制御Windowsアプリ **WPC04**

操作ガイド
Ver.1.2x

目次

はじめに	3
使用上のご注意.....	3
設置のご注意.....	3
概要.....	3
特長.....	4
本書のアイコンについて.....	4
取扱説明書について.....	4
ソフトウェア仕様	5
接続方法	6
マルチレベルチェッカーと本製品を接続する.....	6
インストール方法	7
フォルダ構成について	9
メニュー画面について	10
機器登録・設定	12
機器登録・設定.....	12
測定開始	22
測定結果 全体一覧.....	22
測定結果 個別一覧.....	24
ステータスエラー一覧.....	24
システム設定	25

はじめに

このたびはDXアンテナ製品をお使いいただき、まことにありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

使用上のご注意

- ・本書の内容の全部、または一部を無断で転載することは禁止されています。
- ・個人情報の管理には、十分ご注意ください。
- ・このソフトはパソコン用です。他の機器で使用しないでください。
- ・このソフトを改変して使用した場合に発生した事故や損害に対しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・お客様の誤った操作に起因する事故発生や損害に対しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・このソフトを使用するためには、ネットワーク環境が必要となります。通信事業者とのご契約内容によっては通信料金が高額になる場合があります。ご利用の際はご契約の通信事業者へ確認してください。
- ・本書に記載している画面および仕様は、予告なく変更されることがあります。

設置のご注意

- ・当社製マルチレベルチェッカーのそばに電波干渉を及ぼす機器（ルーターなど）があるときは、誤動作を起こすことがありますので、離してください。

概要

本ソフトは、無人局などに設置したマルチレベルチェッカーを監視することができます。
(マルチレベルチェッカーはWFC01 遠隔制御オプションを搭載している必要があります)

■主な機能は以下の通りです。


- ・最大 50 台まで登録可能
- ・測定するチャンネルを最大 50 チャンネルまで設定が可能
- ・同軸 / 光の入力切替が可能
- ・測定したチャンネルの LEVEL・MER・BER をグラフで表示
- ・測定開始 / 停止の制御が可能
- ・ステータスで状態確認が可能
- ・アラート条件をチャンネルごとに設定が可能

特長

本ソフトは弊社製マルチレベルチェッカーに対して、本ソフト内で設定した USER 測定ファイルに従って、シングル測定の開始・チャンネル変更・結果取得・停止などの制御を行い、測定結果を表示することができます。測定結果から本ソフトがエラーを判定したときにアラート通知を表示します。

本書のアイコンについて

下記の表記は、本製品の画面遷移を表しています。

アイコン	意味
	例) HOME > 機器登録・設定 > 機器情報確認 HOME画面の「機器登録・設定」から「機器情報確認」を選択すると、「機器情報確認」画面が表示されます。

取扱説明書について

最新の各取扱説明書やガイドについては、下記の URL をご確認ください。

- **LC70WCS 取扱説明書**
<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/LC70WCS.pdf>
- **LC70WCS 操作ガイド (本体内蔵)**
https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/LC70WCS_OPERATION_GUIDE.pdf
- **LC70WCS 基本ガイド**
https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/LC70WCS_BASIC.pdf
- **LC70WCS 遠隔制御オプション (WFC01)操作ガイド**
https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/WFC01_OPERATION_GUIDE.pdf
- **LC70WCS 遠隔制御Windows アプリ (WPC04)操作ガイド**
https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/WPC04_OPERATION_GUIDE.pdf

ソフトウェア仕様

● 対応測定器

- ・ マルチレベルチェッカー：LC70WCS

● 動作環境 (推奨動作環境)

推奨動作環境は以下の通りになります。

対応 OS	CPU	メモリ (RAM)	ハードディスク
Windows10/11	2GHz 以上	4GB 以上	300MB 以上の空き容量


本ソフトは、LC50W/LC60WSに対応しておりません。

● 対応放送および対応チャンネル

対応放送	対応チャンネル
地上デジタル放送	13ch ~ 52ch
BS (右旋) デジタル 放送	BS-1 ~ BS-23 (奇数チャンネル)
110 度 CS (右旋) デジタル 放送	ND2 ~ ND26 (偶数チャンネル)
BS (左旋) デジタル放送	BS-2 ~ BS-24 (偶数チャンネル)
110 度 CS (左旋) デジタル放送	ND1 ~ ND25 (奇数チャンネル)
CATV	1 ~ 62ch、C13 ~ C101ch
CATV 上り	UL1 ~ UL7ch (10 ~ 60 MHz の範囲内で割当て)
JCSAT-3A (水平 / 垂直)	K-1 ~ K-28
JCSAT-4B (水平 / 垂直)	K-1 ~ K-32
SCC-B (水平 / 垂直)	1 ~ 23
SCC-C (水平 / 垂直)	D1 ~ D24
LTE	UL:723/733/743MHz DL:778/788/798MHz
FM	FM1 ~ FM8ch (70 ~ 95 MHz の範囲内で割当て)
スカパー!プレミアム光	H001 ~ H106
PILOT	PL1 ~ PL20ch (70 ~ 996MHz の範囲内で割当て)

接続方法


当社製マルチレベルチェッカーをハブやスイッチングハブなどの集線装置に接続し、本ソフトがインストールされているパソコンのネットワークを設定します（ご使用になるパソコンのネットワークの設定方法については、パソコンの取扱説明書をご確認ください）。

 弊社マルチレベルチェッカーのネットワーク設定およびリモート設定については、USBメモリに保存している LC70WCS 遠隔制御オプション（WFC01）の取扱説明書を確認してください。（最新の取扱説明書については➡ 4 ページをご確認ください）

マルチレベルチェッカーと本製品を接続する

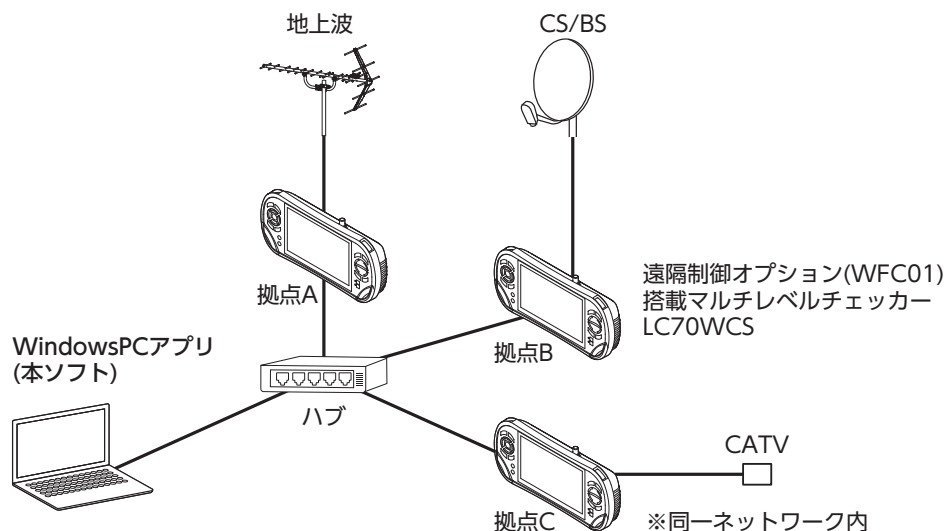
弊社マルチレベルチェッカーのLAN 端子とハブやスイッチングハブなどの集線装置をLAN ケーブルで接続します。

マルチレベルチェッカーと本ソフトがインストールされているPCは同一ネットワークに接続してください。

 ・マルチレベルチェッカーはリモート設定を ON に設定してください。
・SNMP v3 は使用しないでください。コミュニティ / ユーザー名を lc70user に設定してください。（詳しくは LC70WCS 遠隔制御オプション（WFC01）の取扱説明書をご確認ください）

● 接続例

（イラストは、ハブを使用した接続例です）



無線 LAN ルーターを使用している場合、他のWi-Fi 機器と電波干渉することがあります。本製品とWi-Fi 機器はできるだけ離して使用してください。

インストール方法

ほかのアプリケーションを終了してからインストールを行ってください。

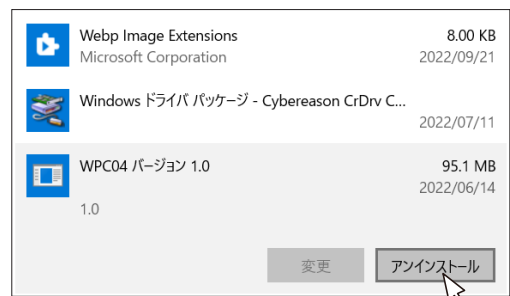
本ソフトをご使用のパソコンにインストールします。

旧バージョンがすでにインストールされている場合

旧バージョンをアンインストールしてから、新バージョンをインストールしてください。

1 コントロールパネルから WPC04 を選択

2 アンインストールを選択

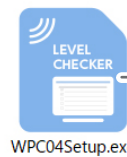


1 USB メモリを接続する

- ・ご使用になるパソコンに USB メモリを接続します。

2 ファイルをデスクトップにコピーする

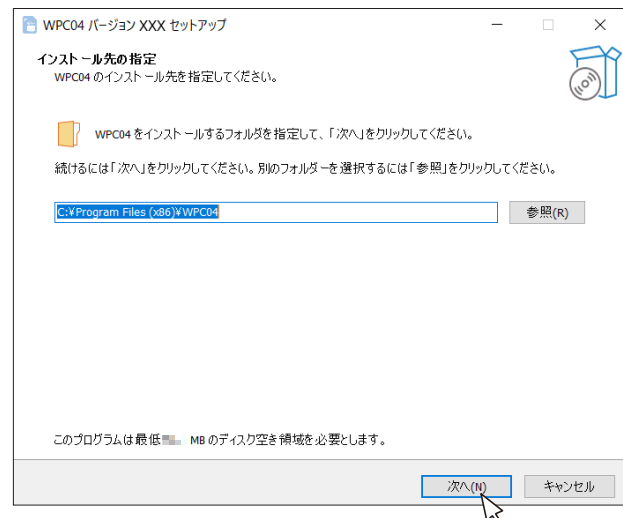
- ・WPC04Setup.exe をデスクトップにコピーし、ダブルクリックします。(許可を求める画面が表示されたときは、「はい」を選択してください。)



ダブルクリック

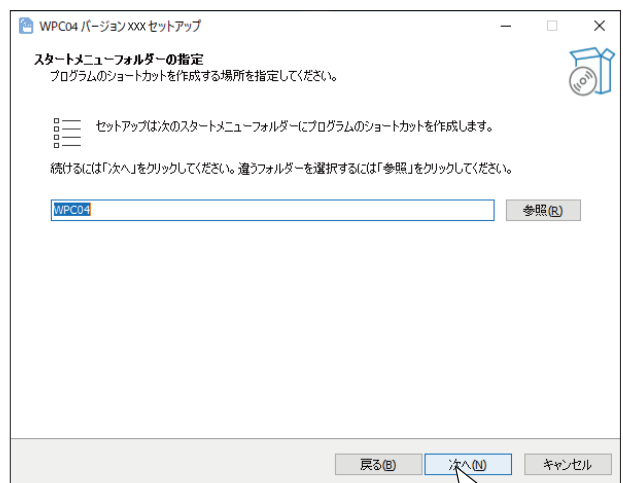
3 「次へ」をクリックする

- ・インストールする場所を変更するときは、「参照」を選択し、インストールする場所を変更します。



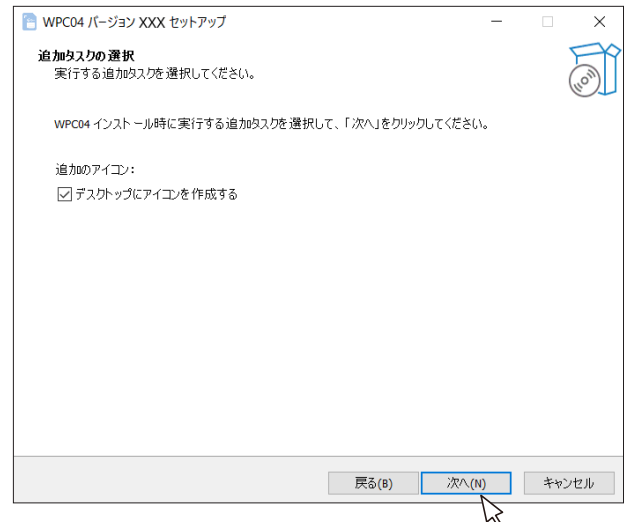
4 「次へ」をクリックする

- ・ショートカットを作成する場所を変更するときは、「参照」を選択し、作成する場所を変更します。
- ・はじめて本ソフトをインストールしたときまたはアンインストールして再度本ソフトをインストールしたときに右記の画面が表示されます。



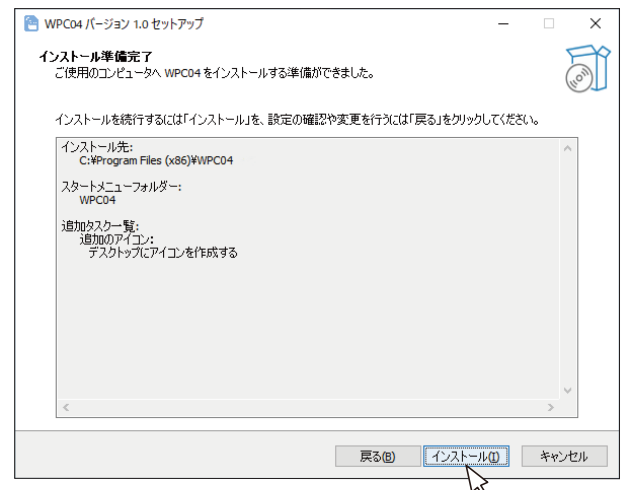
5 「次へ」をクリックする

- 「デスクトップにアイコンを作成する」に✓を入れると、デスクトップにショートカットが作成されます。



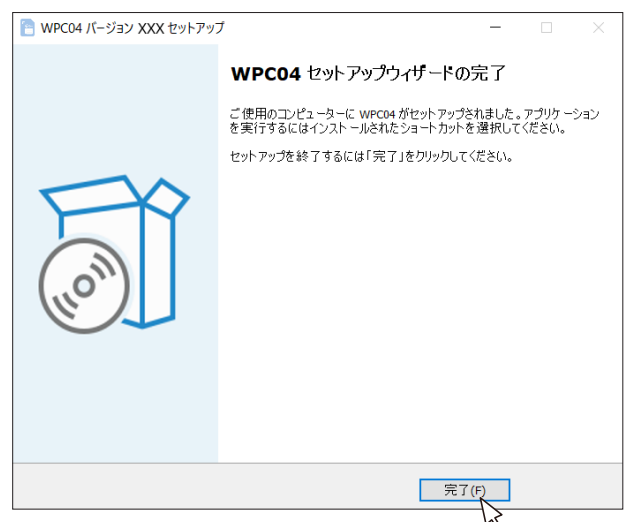
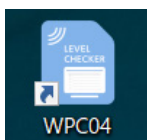
6 「インストール」を選択する

- インストール先を確認し、「インストール」を選択します。



7 「完了」を選択する

- 手順 4 で「デスクトップにアイコンを作成する」に✓を入れている場合は、デスクトップにショートカットが作成されます。



フォルダ構成について

デスクトップに保存された本ソフトのフォルダ構成は下記のとおりです。

保存データは1か月分保存され、日付の古いファイルを消去しながら新しいファイルを保存します。

①WPC04

本ソフトで測定した測定データやエラー情報などが、CSV形式で保存されています。

1-1 InternalReadOnly

本ソフトで使用する内部データですので、保存データを変更しないでください。

1-2 LOG

接続機器のエラー情報や測定データなどが保存されています。

1-2-1 ERROR LOG ※

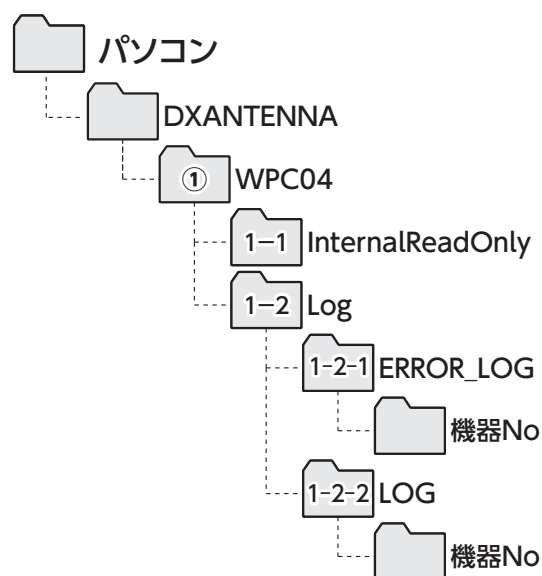
エラー情報が保存されています。

1-2-2 LOG ※

測定データが保存されています。

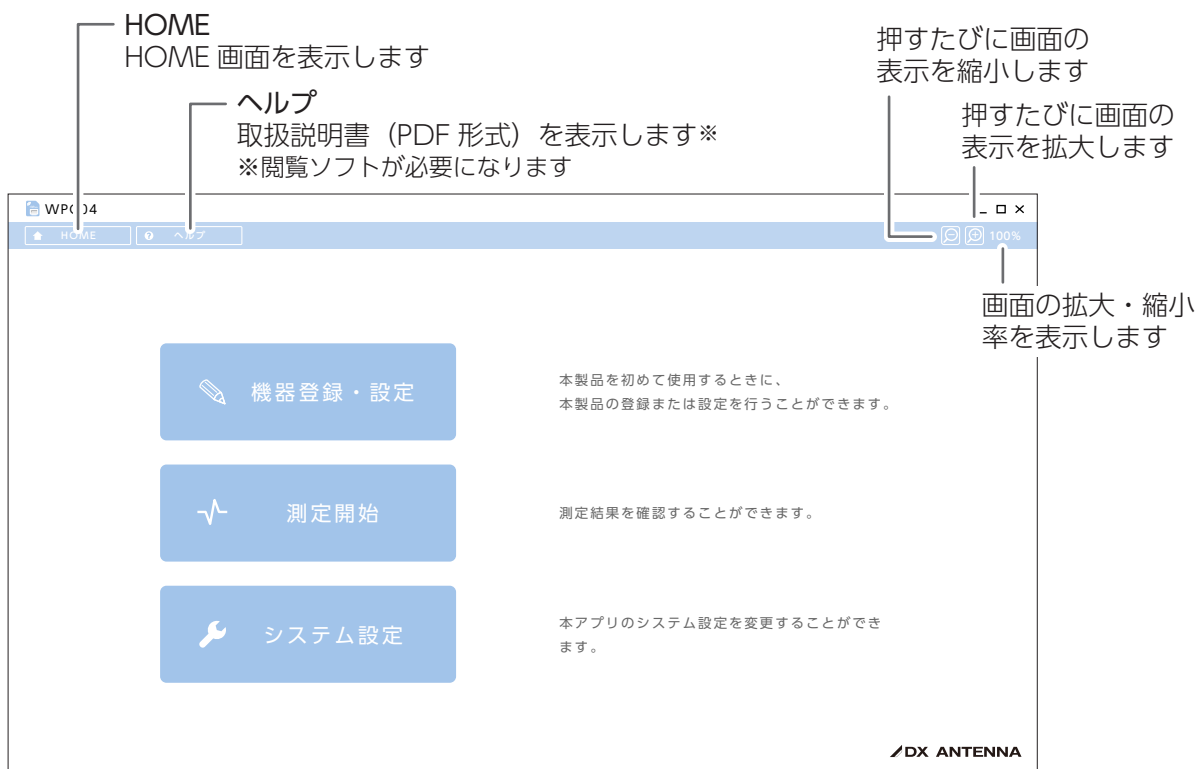
※保存されているファイルを開くと、測定データの書き込みができなくなりますので、これらのファイルを開かないでください。

これらのファイルを開くときは、別のフォルダなどにコピーなどしてからファイルのご確認をお願いします。



メニュー画面について

本ソフトを起動すると、HOME 画面が表示されます。
各メニューの操作については、以降のページをご確認ください。



●機器登録・設定について(⇒ 12 ページ)

マルチレベルチェッカーの登録または設定を行うことができます。
個別で設定する方法とは別に下記のボタンを選択すると、一括設定や登録情報の確認などができます。

- 機種情報確認 (⇒ 12 ページ)
機器の登録情報を確認できます。
- 同軸 / 光一括変更 (⇒ 13 ページ)
同軸および光の切り換えを一括で行えます。
- サイクル間隔一括変更 (⇒ 19 ページ)
サイクル間隔を一括で設定することができます。
- 有効時間一括変更 (⇒ 20 ページ)
アラート有効時間を一括で設定することができます。
- 光波長一括変更 (⇒ 14 ページ)
光波長を一括で設定することができます。



●測定開始について(⇒ 22 ページ)

設定の開始、停止または測定結果を確認することができます。

- 一括測定開始 (⇒ 23 ページ)
選択した行を一括で測定します。
- 一括測定停止 (⇒ 23 ページ)
選択した行を一括で測定を停止します。



●システム設定について(⇒ 25 ページ)

本アプリのシステム設定を変更または、登録している機器を指定して再起動をすることができます。



機器登録・設定

機器登録・設定

本ソフトを初めて使用するとき、マルチレベルチェッカーの登録または設定を行います。
本ソフトにマルチレベルチェッカーを 50 台まで登録が可能です。

 : HOME > システム設定 > ネットワーク設定

弊社マルチレベルチェッカーのネットワーク設定およびリモート設定については、USB メモリに保存している LC70WCS 遠隔制御オプション (WFC01) の取扱説明書を確認してください。
(最新の取扱説明書については➡ 4 ページをご確認ください)

● IP アドレスと名称の設定

接続するマルチレベルチェッカーの名称と IP アドレスを入力します。

1 名称を設定する

- ・設定を変更する行を選択します。
- ・8 文字まで入力できます。

2 IP アドレスを設定する

- ・設定を変更する行を選択し、接続するマルチレベルチェッカーの IP アドレスを入力します。(入力する IP アドレスについては、LC70WCS 遠隔制御オプション (WFC01) 操作ガイドをご確認ください。)

3 適用をクリックする

 IP アドレスを設定したときは、「適用」をクリックしてください。

「適用」をクリックしないと設定した IP アドレスで接続テストの確認ができません。

4 接続テストをする

設定した IP アドレスが正しく接続先のマルチレベルチェッカーと接続できていることを確認します。

- ・「テスト」をクリックします。
選択した行に登録されているマルチレベルチェッカーに対して接続テストを行います。



 接続テストは、PING の疎通確認をしています。

1. パソコン側、マルチレベルチェッカー側がともに適切に差し込まれていることを確認するため、LAN ケーブルを抜き差ししてください。
2. IP アドレス自動取得が ON の場合は、IP アドレスが取得できていることを確認してください (マルチレベルチェッカーのネットワーク設定画面で確認することができます)。
3. 再度リモート設定を ON にして、保存してください (自動で再起動します)。

異なる機器と IP アドレスが重複している場合、接続テストは正常であっても、マルチレベルチェッカーを制御できないことがあります。マルチレベルチェッカーを他と重複していない IP アドレスに設定してください。

● 同軸 / 光の設定

1 同軸または光を選択する

- ・ ボタンを押して、「光」または「同軸」を選択します。

2 適用をクリックする

- ・ 設定内容が反映されます。



設定を反映させるためには、必ず「適用」をクリックしてください

一括で設定を変更するとき

同軸および光に一括で変更することができます。

- ① 「同軸 / 光一括変更」を選択します

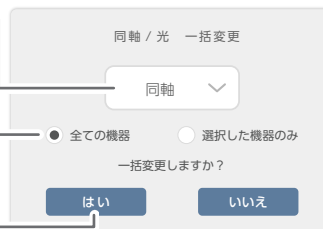


- に ✓ を入れたすべての機器を一括で変更することができます (下記の手順③をご確認ください。)
- 「全選択」を選択すると、すべての機器に ✓ が入ります

- ② 「同軸」または「光」を選択します

- ③ 「全ての機器」または「選択した機器のみ」を選択します

- ④ 「はい」を選択します



✎ 「全ての機器」を選択すると、✓を入れていない機器も変更されます。

● 光波長選択

1 光レベルを測定する光波長を選択する

- ・ ボタンを押して、「1300nm」、
「1310nm」、「1490nm」、
「1550nm」、
「1625nm」のいずれかを選択します。

2 適用をクリックする

- ・ 設定内容が反映されます。



設定を反映させるためには、必ず
「適用」をクリックしてください

一括で設定を変更するとき

光波長を一括で変更することができます。

- ① 「光波長一括変更」を選択します



- ② に を入れたすべての機器を一括で変更することができます
(下記の手順③をご確認ください)
「全選択」を選択すると、すべての機器に が入ります

- ② 「1300nm」、
「1310nm」、
「1490nm」、
「1550nm」、
「1625nm」のいずれかを選択します

- ③ 「全ての機器」または「選択した機器のみ」を選択します

- ④ 「はい」を選択します



「全ての機器」を選択すると、 を入れていない機器も変更されます。

● チャンネル設定

1 チャンネル設定をクリックする

- ・ ボタンをクリックして、設定をします。
(測定チャンネル設定・チャンネルマッピング画面(下記)に移動します)

2 以降の手順3～4を設定後、適用をクリックする

- ・ 設定内容が反映されます。



3 測定チャンネルを設定する

①バンドを選択します。

- ・ 「CATV」を選択したときは、運用に応じて設定1または設定2 (SHB) および設定3または設定4 (VHF) を選択します。

設定1または設定2は、C24～C27 (SHB)、設定3または設定4は、8～12 (VHF) の中心周波数を設定することができます。

設定を反映させるためには、必ず「適用」をクリックしてください

設定 1		設定 2	
チャンネル	中心周波数	チャンネル	中心周波数
C24	231MHz	C24	233MHz
C25	237MHz	C25	239MHz
C26	243MHz	C26	245MHz
C27	249MHz	C27	251MHz

設定 3		設定 4	
チャンネル	中心周波数	チャンネル	中心周波数
8	195MHz	8	191MHz
9	201MHz	9	197MHz
10	207MHz	10	203MHz
11	213MHz	11	209MHz
12	219MHz	12	215MHz

②チャンネルを選択します。

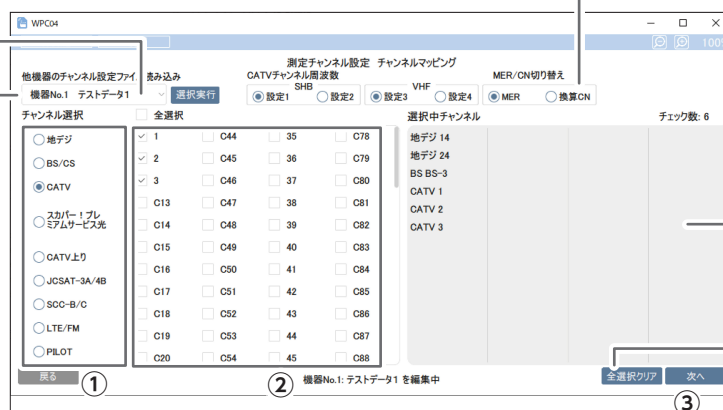
- チャンネルを選択すると、右側に選択済の画面が表示されます。
- ・ 「全選択」を選択するとすべてのチャンネルを選択します。
- 「全選択クリア」をクリックすると、すべての選択が解除されます。
- ・ チャンネルは 50 チャンネルまで登録が可能です

③「次へ」をクリックします。

BAND を地デジ、CATV に選択した場合、測定結果の品質表示として、MER または換算 C/N を選択できます。ただし、CATV は放送方式 ISDBT の場合のみ、換算 C/N 表示を適用します。

全てのチャンネルが
選択されます

設定済の機器設定
ファイルを読み込
むことができます
(⇒ 21 ページ)




選択済のチャ
ンネルが表示
されます

全ての選択が
解除されます

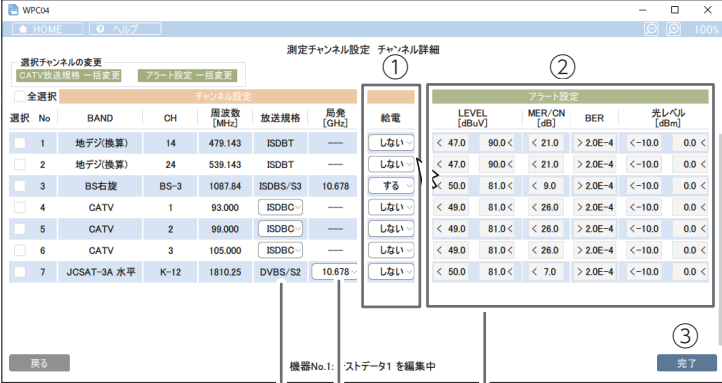
4 詳細を設定する

選択したバンド毎に給電の設定やアラート設定をします。

(CATV 設定時：放送規格、JCSAT または SCC 設定時：局発を設定します)

 放送規格：「ISDBC」または「ISDBT」を選択してください。
局発：「10.678」、「11.2」または「11.3」を選択してください。

- ① ボタンをクリックして、給電「する」または「しない」を選択します。
- ② アラートのしきい値範囲を設定します。
・ 設定値を直接入力します。
- ③ 完了をクリックすると、「機器登録・設定」画面に戻ります。



CATV 設定時に選択可能
JCSAT または SCC 設定時に選択可能

設定値を直接入力

- ④ 適用をクリックします。
- ⑤ 「チャンネル設定」が「設定・確認」に切り変わったことを確認します。

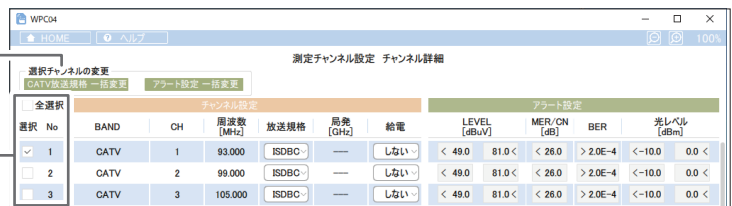
機器登録・設定画面



CATV 放送規格を一括で設定を変更するとき

CATV 放送規格を一括で変更することができます。

- ① CATV 放送規格一括変更を選択します



に を入れたすべての機器を一括で変更することができます (下記の手順③をご確認ください)

「全選択」を選択すると、すべての機器に が入ります

- ② 「ISDBC」または「ISDBT」を選択します



- ③ 「全てのチャンネル」または「選択したチャンネルのみ」を選択します

全てのチャンネル 選択したチャンネルのみ

一括変更しますか？

はい

いいえ

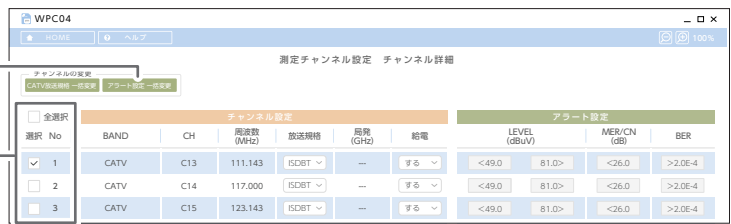
- ④ 「はい」を選択します

「全てのチャンネル」を選択すると、 を入れていない機器も変更されます。

アラート設定を一括で設定を変更するとき

アラート設定を一括で変更することができます。

- ① アラート設定一括変更を選択します



- に✓を入れたすべての機器を一括で変更することができます
(下記の手順③をご確認ください)
「全選択」を選択すると、すべての機器に✓が入ります

- ② LEVEL、MER、CN、BER、
光レベルのしきい値を入力します。



- ③ 「全てのチャンネル」または
「選択したチャンネルのみ」
を選択します

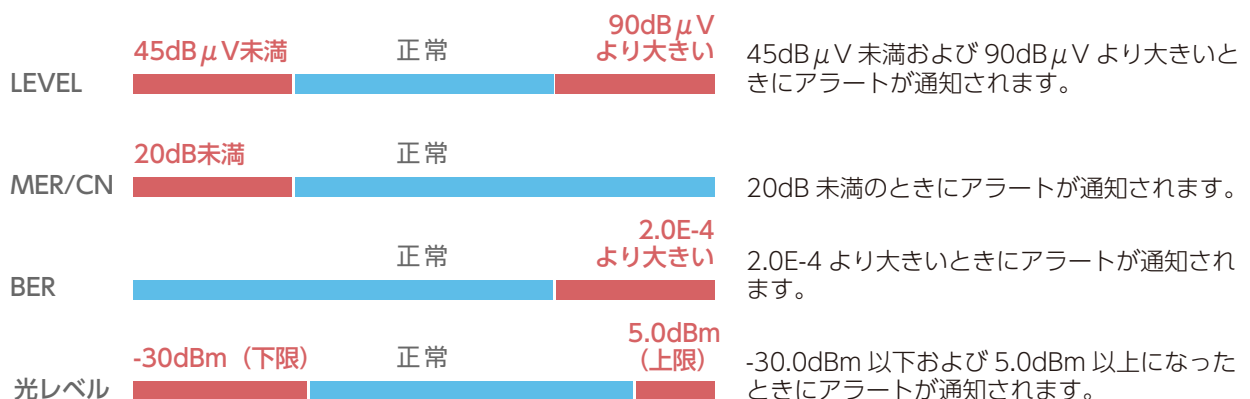
- ④ 「はい」を選択します

「全てのチャンネル」を選択すると、✓を入れていない機器も変更されます。

■アラート作動例

作動例は下記のように設定した場合です。

- ・ LEVEL : 45dB μ V (下限) ・ 90dB μ V (上限)
- ・ MER/CN : 20dB 未満
- ・ BER : 2.0E-4 より大きい
- ・ 光レベル : -30.0dBm (下限) ・ 5.0dBm (上限)



● サイクル間隔

設定したチャンネル測定が一巡して終了した後、次の測定を開始するまでの間隔(タイムラグ)を設定します。

1 サイクル間隔を設定する

- ・ボタンをクリックして、間隔を設定します。
- 連続、5分、15分、30分、60分から選択します。

2 適用をクリックする

- ・設定内容が反映されます。



設定を反映させるためには、必ず「適用」をクリックしてください

一括で設定を変更するとき

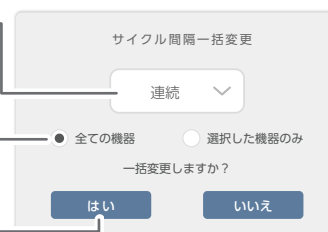
サイクル間隔を一括で変更することができます。

- ① 「サイクル間隔一括変更」を選択します



- に✓を入れたすべての機器を一括で変更することができます (下記の手順③をご確認ください。)
- 「全選択」を選択すると、すべての機器に✓が入ります

- ② サイクル間隔を選択します



- ③ 「全ての機器」または「選択した機器のみ」を選択します

- ④ 「はい」を選択します

「全ての機器」を選択すると、✓を入れていない機器も変更されます。

● アラート有効時間

アラートを判定する時間帯を設定することができます。

1 アラート有効時間を設定する

- ・ボタンをクリックして開始時刻と終了時刻を入力します。

2 適用をクリックする

- ・設定内容が反映されます。



3 時刻を設定する

- ・開始時刻と終了時刻を設定します。
- ・常時を選択すると、24 時間設定になります。
- ・設定完了後、「はい」を選択します。



設定を反映させるためには、必ず「適用」をクリックしてください

📎 「開始時刻」と「終了時刻」を下記の例のように設定した場合は、「常時」の設定と同じ設定内容になります。

設定例：開始時刻00：00～終了時刻23：59
(00:00:00 ~ 23:59:59 までアラート機能が有効になります)

一括でアラート有効時間を変更するとき

アラート有効時間を一括で変更することができます。

- ① 「有効時間一括変更」を選択します



- に✓を入れたすべての機器を一括で変更することができます (下記の手順③をご確認ください。)
- 「全選択」を選択すると、すべての機器に✓が入ります

- ② 「開始時刻」または「終了時刻」を設定します
常時を選択すると、24 時間設定になります



- ④ 「はい」を選択します

- ③ 「全ての機器」または「選択した機器のみ」を選択します

📎 「全ての機器」を選択すると、✓を入れていない機器も変更されます。

📎 「開始時刻」と「終了時刻」を下記の例のように設定した場合は、24 時間設定になります。

設定例：開始時刻00：00～終了時刻23：59
(00:00:00 ~ 23:59:59 までアラート機能が有効になります)

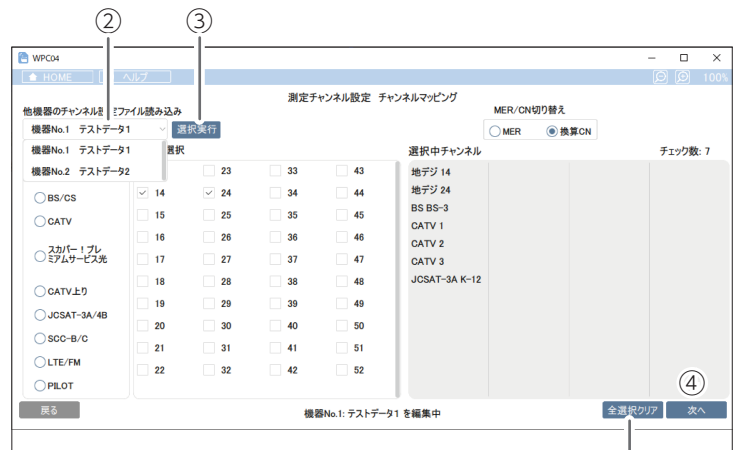
● 設定呼び出し

個別で設定を読み込むとき

設定した機器のファイルを読み込むことができます。

1 機器 No を選択する

- ① 「機器登録・設定」 > 「測定チャンネル」を設定します (➡ 15 ページ)。
- ② 設定を読み込む機器 No を選択します。
- ③ 「選択実行」をクリックします。
- ④ 「次へ」を選択します。
「全選択クリア」を選択すると、すべての選択が解除されます。



全ての選択が
解除されます

登録内容を確認するとき

登録されたマルチレベルチェッカーに対して、取得したシリアル番号、MAC アドレス、ファームウェアバージョンを確認することができます。

- ① 「機種情報確認」を選択します



- ② 機種情報確認画面を表示します



測定開始

測定結果 全体一覧

登録したマルチレベルチェッカーすべての測定結果を確認することができます。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			⑧			⑨		
選択	開始	ステータス	OH 詳細	機器No	名称	日時	BAND	CH	周波数 [MHz]	レベル [dBuV]	MER/CN [dB]	BER	光レベル [dBm]	チャンネル設定
<input checked="" type="checkbox"/>	測定中	正常	<input checked="" type="checkbox"/>	1	テストデータ1		地デジ	14	479.143					設定・確認
<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>				地デジ	24	539.143					
<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>				BS	BS-3	1087.84					
<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>				CATV	1	93.000					
<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>				CATV	2	99.000					
<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>				CATV	3	105.000					
<input type="checkbox"/>	測定中	正常	<input checked="" type="checkbox"/>	2	テストデータ2		JCSAT-3A	K-12	1810.25					設定・確認
<input type="checkbox"/>	停止中	正常	<input checked="" type="checkbox"/>	3	テストデータ3		CATV	C13	111.000					未設定

① に を入れたすべての機器を一括で変更したり、測定したデータを CSV 形式で保存したりすることができます。（「一括で測定を開始または停止するとき」(➡ 23 ページ)を確認してください)。
(測定したデータを CSV 形式で保存するときは、下記の⑩をご確認ください)。
「全選択」を選択すると、すべての機器に が入ります。

② 測定を開始するまたは停止するを設定します。 または を押すと切り換わります。

: 測定を開始します

: 測定を停止します

③ 下記のアイコンをクリックすると異常内容を確認することができます。

を押すと「正常順」または「エラー順」で並べ替えができます。

: 正常に測定ができます。

: 異常が解除されました。

: 異常があり測定ができません。アイコンをクリックして内容を確認してください。

: マルチレベルチェッカーと接続ができていません。接続状態を確認してください。

④ ⑤の機器 No の番号をクリックすると、 が表示されます。

を押すと、「測定結果 選択チャンネル詳細」画面に移動します。(➡ 24 ページ)

⑤ 機器 No を表示します。 をクリックすると「昇順」または「降順」で並べ替えができます。

⑥ 機器の名称や測定日時を表示します。

⑦ 測定するバンド、チャンネル、周波数を表示します。

⑧ 測定結果を表示します。

⑨ 測定するバンド、チャンネルを設定および確認できます。

➡ 15 ページ 手順2 「測定チャンネルを設定する」を確認してください。

⑩ 測定したデータから抽出したい行を選択して、クリックすると CSV 形式で保存されます。(保存する場所を選択し、ファイル名を付けて保存してください)
(行を選択するときは、上記の①をご確認ください)

一括で測定を開始または停止するとき

一括で測定を開始または停止をすることができます。

- ① 「一括測定開始」または「一括測定停止」を選択します。

一括測定開始
一括で測定を開始します。

一括測定停止
一括で測定を停止できます。

選択	開始	ステータス	CH 詳細	機器No	名称	日時	BAND	CH	周波数 [MHz]	レベル [dBuV]	MER/CN [dB]	BER	光レベル [dBm]	チャンネル 設定
<input checked="" type="checkbox"/>	測定中	正常	1	テストデータ1			地デジ	14	479.143					設定・確認
<input checked="" type="checkbox"/>							地デジ	24	539.143					
<input checked="" type="checkbox"/>							BS	BS-3	1087.84					
<input checked="" type="checkbox"/>							CATV	1	93.000					
<input checked="" type="checkbox"/>							CATV	2	99.000					

に を入れたすべての機器を一括で変更することができます

機器 No が表示されている行に がないと測定を開始または停止の動作は行いません。

(下記の手順②をご確認ください。)

「全選択」を選択すると、すべての機器に が入ります

- ② 「全ての機器」または「選択した機器のみ」を選択します

一括測定開始

全ての機器 選択した機器のみ

一括測定開始しますか？

- ③ 「はい」を選択します

「全ての機器」を選択すると、 を入れていない機器も動作します。

測定結果 個別一覧

選択した機器 / チャンネルの測定結果をグラフ表示などで詳細に確認することができます。

チャンネル情報を表示します

表示プロット数を変更できます

上限値を変更できます

下限値を変更できます

測定結果をグラフで表示します

①

②

③

戻る

1/1 ページ

ページを切り換えます

測定結果を一覧表で表示します

前の画面に戻ります

詳細	日時	LEVEL [dBuV]	MER/CN [dB]	BER	光レベル [dBm]
<input checked="" type="checkbox"/>	2023/02/27 13:30:11	100.0	>35.0	0.0e-0	---
<input checked="" type="checkbox"/>	2023/02/27 13:30:03	92.8	26.1	2.2e-2	---
<input checked="" type="checkbox"/>	2023/02/27 13:29:55	76.4	34.5	0.0e-0	---
<input checked="" type="checkbox"/>	2023/02/27 13:29:46	87.4	27.7	2.2e-2	---
<input checked="" type="checkbox"/>	2023/02/27 13:29:38	75.9	34.7	0.0e-0	---
<input checked="" type="checkbox"/>	2023/02/27 13:29:30	99.1	27.8	1.1e-2	---
<input checked="" type="checkbox"/>	2023/02/27 13:29:22	71.3	31.9	1.4e-2	---
<input checked="" type="checkbox"/>	2023/02/27 13:29:13	59.4	20.4	0.0e-0	---
<input checked="" type="checkbox"/>	2023/02/27 13:29:05	72.1	32.0	7.9e-3	---
<input checked="" type="checkbox"/>	2023/02/27 13:28:57	100.0	>35.0	0.0e-0	---

- ①測定した日を指定することができます。
- ②測定中に、クリックするとグラフ表示で確認することができます (リストとグラフの更新を停止します)。
- ③測定中に、クリックすると「更新中」と「停止中」に切り換わります。
更新中：リストとグラフが最新に更新されていきます
停止中：データの更新を停止します

ステータスエラー一覧

全選択

ステータスエラー一覧

選択	ステータス	機器 No	名称	BAND	CH
<input checked="" type="checkbox"/>	接続エラー	1	テストデータ 1	CATV	C13
<input type="checkbox"/>	接続エラー	1	テストデータ 1	CATV	C14
<input type="checkbox"/>	接続エラー	1	テストデータ 1	CATV	C15
<input type="checkbox"/>	接続エラー	1	テストデータ 1	JCSAT-3A	K-2
<input type="checkbox"/>	接続エラー	1	テストデータ 1	JCSAT-3A	K-10

エラーになったチャンネル情報を表示します

①

②

③

④

エラー解除

ログ保存

閉じる

測定結果全体一覧に戻ります

- ① に を入れた機器のみ「エラー解除」、「ログ保存」することができます。「全選択」を選択すると、すべての機器に が入ります。
- ② エラー解除： に を入れたチャンネル単位でエラー表示を解除します。
- ③ ログ保存： に を入れた機器のみエラー内容のログを CSV 形式で保存します (保存する場所を選択し、ファイル名を付けて保存してください)。
- ④ エラー内容が表示されます。
名称をクリックすると別のチャンネルのエラー内容を確認することができます。

システム設定



設定完了後、「設定」を選択します

● 測定待機時間

チャンネル切替後、測定するまでの待ち時間を設定します。
各項目のスライダーを左右に動かして設定してください。



- ①測定するバンドを変更する場合に待ち時間を追加します。
- ②給電設定で「する」を選択したチャンネルに待ち時間を追加します。
- ③マルチレベルチェッカーのバンド、チャンネルを設定したあと、測定結果を取得するまでの待ち時間を設定します。


● 1ch 監視モード

1チャンネルのみを約1秒間隔で測定するモードです。
機器No1 に登録したマルチレベルチェッカーのみ、1ch 監視モードを使用することが可能です。
チャンネル測定にて測定チャンネルを1チャンネルのみに設定した後、本設定をONに設定します。

● 再起動

登録している機器 No. を選択して、遠隔でマルチレベルチェッカーを再起動することができます。

▼をクリックして、登録している機器を選択し、「再起動」を選択すると、選択したマルチレベルチェッカーが再起動します。

 再起動には数分かかる場合がありますので、再起動したマルチレベルチェッカーを操作する場合は、しばらく時間をおいてください。



ソフトウェア使用許諾契約書

本契約書は、お客様とDXアンテナ株式会社(以下弊社とします)との間で締結される契約書です。本ソフトウェアをインストールまたは使用する前に契約書を必ずお読みください。お客様が本ソフトウェアをインストールまたは使用した時点で本契約のすべての条件に同意いただいたこととなります。お客様が本契約に同意できない場合は、本ソフトウェアのインストールまたは使用の許諾はできません。

1.使用許諾

(1) 弊社は、お客様に対し本ソフトウェアの非独占的な使用権を許諾します。

2.著作権の帰属

本ソフトウェアは、知的財産権に関する法律によって保護されており、知的財産権に関する一切の権利は弊社に帰属するものとし、本ソフトウェアは、本契約の条件に従い弊社からお客様に使用許諾されるもので、本ソフトウェアの知的財産権がお客様に移転するものではありません。

3.禁止事項

- (1) お客様は、本契約に明示的に許諾されている場合を除いて本ソフトウェアをインストール、使用、複製することはできません。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを第三者に配布、レンタル、リース、貸与、譲渡又は再使用許諾することはできません。
- (3) お客様は、本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル等、リバースエンジニアリング作業を行うことはできません。
- (4) お客様は、本ソフトウェアの著作権表示を削除・変更することはできません。
- (5) 本ソフトウェアを直接または間接に日本国外へ輸出することはできません。
- (6) 本契約により許諾されている以外のことはできません。

4.免責事項

- (1) 弊社は、本ソフトウェアの使用または使用不可から生じた直接的、間接的な損害、逸失利益等について、いかなる場合も一切責任を負いません。
- (2) 弊社は、第三者のソフトウェアに起因する本ソフトウェアの使用または使用不可から生じた直接的、間接的な損害、逸失利益等について、いかなる場合も一切責任を負いません。

5.契約の終了

- (1) 弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了することができます。
- (2) お客様には、本契約の終了時にソフトウェア及びその複製物を廃棄または消去していただきます。

6.一般条項

- (1) 本契約の条項の一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
- (2) 本契約は、日本国法に従って解釈されるものとします。
- (3) 本契約に関わる紛争は、神戸地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。